

日本工営株式会社

2017 年 8 月 22 日

日本工営 バングラデシュ国ダッカの国際空港拡張事業を受注 ～ 急増する航空需要に対し空港の旅客処理能力拡大、利便性向上を図る ～

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、社長：有元龍一、以下「日本工営」）は、バングラデシュ人民共和国のハズラット・シャージャラル国際空港拡張事業に係る設計・施工監理業務を、日本工営をはじめとする 4 社の JV（共同企業体）で受注いたしました。

今回拡張事業を行うハズラット・シャージャラル国際空港は、バングラデシュ国内で離発着する国内・国際線の約 75%が利用しており、バングラデシュの社会経済活動を支える基幹インフラとして重要な役割を担っています。バングラデシュは経済成長に伴い航空需要が急増しており、現在旅客者の年平均増加率は約 10%近い水準で推移し、2018 年には同国際空港の既存処理能力の上限である 800 万人を超えると予測されています。また、航空貨物の取扱量も年々増加する中、貨物管理システムの未整備、非効率なオペレーション等で貨物処理能力の脆弱性が現地日系企業やバングラデシュ全体の経済活動に影響するなど、早急な改善が求められています。

本事業は円借款によるもので、2022 年 8 月の供用開始が予定されています。国際線旅客ターミナルや貨物ターミナルの新設等を行うことにより、年間対応旅客数約 1,200 万人を想定した旅客処理能力拡大、利便性および安全性の向上を図り、バングラデシュ国の経済成長促進に寄与することが期待されています。日本工営では現在ダッカ新空港建設においても事業化調査を行っており、既存空港と新空港を同時に運用するデュアル・ハブ体制を整備し、バングラデシュ国の経済発展支援を推進しています。

日本工営は、今後とも、総合技術コンサルタントとしての強みを活かし、幅広いコンサルティングサービスを提供してまいります。



ハズラット・シャージャラル国際空港 拡張完成イメージ



空港場所

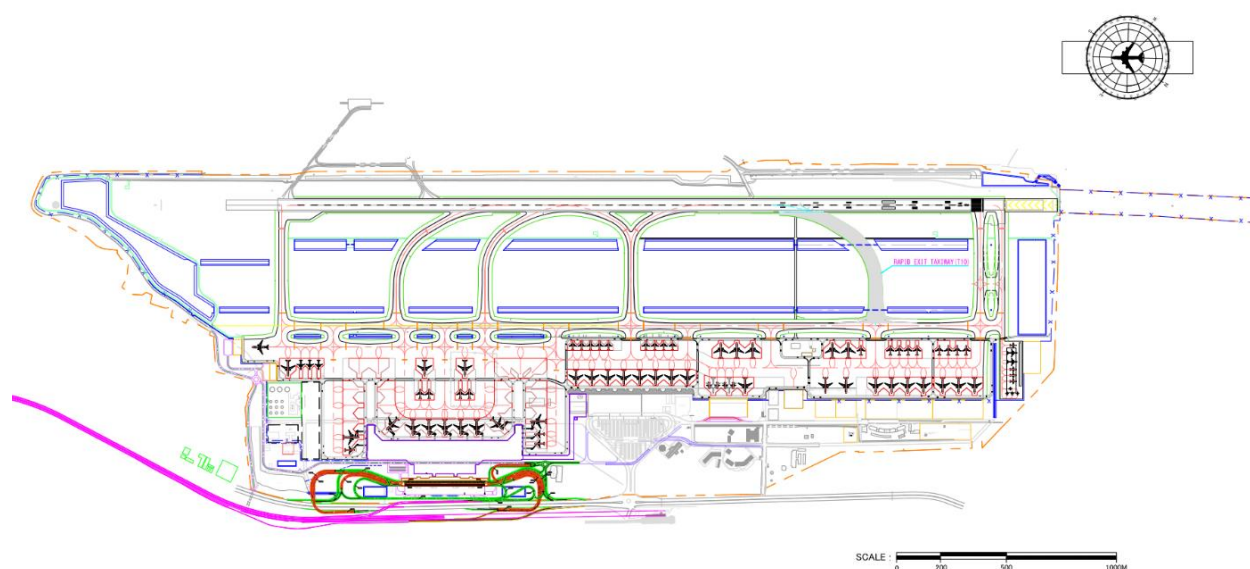
—お問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-5276-2454 Email : info@n-koei.co.jp ホームページ : <http://www.n-koei.co.jp/>

■本事業の概要

案件名称	ハズラット・シャージャラル国際空港拡張事業
建築地	バングラデシュ人民共和国
実施機関	バングラデシュ国民間航空局（Civil Aviation Authority, Bangladesh）
業務概要	以下の詳細設計レビュー、入札補助、施工監理、技術移転等 ① 国際線旅客ターミナル新設 ② 新貨物ターミナル新設 ③ VIP ターミナル新設 ④ ユーティリティ施設（消防・燃料等）新設
業務体制	4 社 JV 日本工営株式会社（幹事） 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル CPG Consultants Pte Ltd. Development Design Consultants Ltd.
サービス期間	61 か月
契約額	約 46 億円（うち日本工営分 約 22 億）
総事業費	約 1,920 億円（予定）
コンサルタントサービス開始	2017 年 7 月 19 日



ハズラット・シャージャラル国際空港 全体レイアウト